

1. 件名：「日立造船（株）特定兼用キャスクの型式証明申請（Hitz-B69 型）に関するヒアリング【12】」
2. 日時：令和5年11月22日 13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
岩澤安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官※
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官
（システム安全研究部門）
小澤システム安全政策研究官※、後神主任技術研究調査官
日立造船株式会社：
脱炭素化事業部 プロセス機器ビジネスユニット 原子力機器事業推進室
室長 他8名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（コメント回答2）
資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（バスケット材料について）
資料1-3 補足説明資料 1-2 バスケット材料（SG295）と設計方針の関係について
資料1-4 補足説明資料 16-1 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設（別紙2抜粋）
資料1-5 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料
資料1-6 補足説明資料 16-6 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料
資料1-7 Hitz-B69 型 ヒアリングコメント管理票

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁の松野です。
0:00:06	それでは時間になりましたので、日立造船の型式証明のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:13	本日の資料は前回のヒアリングコメントを踏まえて、
0:00:17	修正された点が、
0:00:20	を中心に、資料に基づいて説明をお願いできればと思います。
0:00:24	ではよろしく申し上げます。
0:00:26	はい。日立造船の方からです。それがまず資料確認さえさせていただきますまず資料 1-1、
0:00:34	設置許可基準規則への適合についてコメント回答 2 のパワーポイント。
0:00:38	資料 1-2、こちらはバスケット材料についてというパワーポイント。
0:00:43	資料 1-3、これは補足説明資料 1-2、バスケット材料SG295 と設計方針の関係について、
0:00:51	資料 1-4、補足説明資料の 16-1、これは 16 条の燃料ダイトウの取扱施設及び貯蔵施設の別紙 2 の部分を抜粋しております。
0:01:02	はい。資料 1-5、こちらに関しましては補足説明資料 16-3、遮へい機能に関する説明資料、
0:01:10	資料 1-6。
0:01:11	こちら補足説明資料 16-6、材料構造健全性、長期健全性に関する説明資料、こちらは
0:01:19	燃料被覆管の
0:01:22	内主手法効力の評価の、
0:01:25	ための資料となっております。はい。そして資料 1 のような、こちらがヒアリングコメント管理表となっております。はい。それでは本日、
0:01:36	私、Hitz-B52 のはい型式証明の日、進めさせていただきます。
0:01:43	説明者変わります。
0:01:51	イトウセンナヒグチ失礼しましたHitz-B69、ご説明させていただきます。
0:01:56	では、本日ですね、ご説明の流れといたしましては、
0:02:01	三つ分けてですね、ツジ 295、それから、バスケ、クランプ構造、
0:02:08	それと遮へいに関する、上部格子アップの考え方。
0:02:11	この三つに分けて、基本的には進めさせていただきたいと。
0:02:15	では早速、SG29 号に関係するところで、まず資料 1-7、ヒアリングコメントリストの方でちょっと説明させていただきたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	冒頭に、1 ページ目に記載しております通り、青字の方はですね、前回までのコメントで、紫の紫のものがですね 11 月 22 日にいただいたコメントとなります。
0:02:44	早速ですけれども、めくっていただきまして、
0:02:49	33 ページ。
0:03:00	33 ページになりますけれども、
0:03:03	こちらですね、青字で書かれているのは、前回ご説明させていただきま す、10 月 20 日にご説明させていただいております、
0:03:11	こちらに関して番号 150 番 151 番に関しましては、ちょっと詳細な説明 を割愛させていただきます。いただきますけれども、説明させていただ いた通りということで、うん。
0:03:23	で、155 番も、第 55 番は、杉とさせていただいて 156 番、
0:03:30	に関しまして、本日のご説明で、
0:03:34	クランプの方、説明内容見ますと、これはまた後程クランプコードのど ころ、
0:03:40	157 番、こちらも
0:03:44	10 月 20 日の回答させていただいて、スギタさせていただいて、
0:03:54	続きまして 158 番、35 ページの 158 番。
0:03:59	こちらに関しましては、レーザー用紙の構成ですね、応力調査の後にこ のレーザー溶接を行う過程こちらも、10 月 20 日にご説明させていただ きまして、
0:04:12	現状のところですね、年間確保能力所存行うということで、
0:04:18	エーザイをするもの、ツツミ処理は考えておりませんという、ご回答させ ていただき、
0:04:24	159 番、こちらに関しましては、大貫藤堂兵藤により強度が変化すること がないのかということなんですけども、
0:04:34	こちらに関しては、1011 月 20 日にご説明させていただいております が、こちらに関しての今日の説明で、
0:04:42	開発していただき、
0:04:45	160 番、
0:04:48	ある裕度と転化する構成を説明することということだったんですけども、 こちらそのあと調べましたら、
0:04:57	純酸素転炉の工程ですね、ある意味、添加添加されてるということ が、一般的に言われているということで確認がとれましたので、本日の 回答に記載され、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:10	161 番、こちらも 10 月 20 日に口頭で回答しておりますが、
0:05:15	労力事故相談を行うときの製品の施設、こちらも太陽工機であるという ことで回答をさせていただき、
0:05:23	162 番に関しましては、郷医局長の及び応力場創造により、ツツミコウ 予定できることについて説明するこれは本日の資料、
0:05:35	さらに、
0:05:36	163 番、暴力受賞者によってフジコーが抑制できることについて、今月 の人件入札について、こちらも、
0:05:43	本日の資料でご説明させて、
0:05:46	164 番、申請範囲、設計指針を、方針を示すことこちらも本日の資料で ご説明させていただき
0:05:54	ここまでが、バスケットの 25 台に係る前回のヒアリング含めて、
0:06:02	早速ですけれども、まず資料番号 1-1 で、今度のコメント回答でどうい うふうに該当するかと。
0:06:10	いうところについてご説明させていただきたいと思います。
0:06:13	めくっていただきます資料 1-1 の 9 ページになります。
0:06:20	審査会合コメント 14 番に対する回答ですけれども、ここ、黄色で示して いるところが前回から変更している方でございます、
0:06:29	SG29 号については、技術G316 及びJISG3 出身研究した製造管理規 定を定めて、新たに製造方法、熱傷、オーステナイト系shouldを形成す るという
0:06:41	こちら後程、本日ご用意した資料で、明確にご説明したいと。
0:06:48	それから、
0:06:51	15 番はちょっとクランプコードの話なんで割愛させていただきます。
0:06:56	お礼だけです、すいません、失礼いたします。
0:06:59	めくっていただきまして右下 12 ページ。
0:07:04	こちらがND9 号に対する質問回答ということになりまして、前回から大 分ちょっと簡略させていただいてますといひますのは前回説明した内容 をですね、
0:07:16	今回ご用意した資料 1-2 の、バスケット材料についてという対応パート の方に全部、
0:07:24	落ち込んでおりますので、
0:07:26	そういった意味合いで、コメント回答として、
0:07:28	端的にまとめさせていただいております。
0:07:31	質問の内容がですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:36	二つ目で、バスケット材料への適用が認められるSD分 410、こちらですね、1 ツジ 3118 のものになるんですけども、
0:07:47	こちら、JISG346 よりも多くの項目を設定しているということで、
0:07:53	推進 9 号を適用するためには、辻井さん 11 月つまりSD分院と同じ製造方法を、を定める必要があるということで、この点について、考え方方針を説明すること。
0:08:07	というコメントをいただいて、
0:08:10	こちらのコメントに関しまして、コメントに対する回答といたしましては、コメントの通り、一井 9 号の企画である杉井さん記録、
0:08:19	暖気議事録では、
0:08:20	申請や長期健全性に係る製造方法、熱処理
0:08:24	及び結晶ルール等を規定されていないことから、SGV41 も実験されているG3 支社長参考とし、特別に製造関係を定めることとすると。
0:08:35	いう回答にさせていただいて、
0:08:37	質問いただき、次辻井 316 と 31 字 18 の大きな違いであります。
0:08:43	製造方法ねっ処理を生命と結晶粒度については、それぞれ製造方法について分け最優黄色の方から製造すること。
0:08:51	いうことと、熱傷については、圧延のままとさせていただくということで規定させていただくと。
0:08:58	それから大隅哲章流量に関しましては、補正で結晶流動 5 以上または参加要請アルミニウムの分析値を 0.015%以上とすることを規定する。
0:09:09	いうふうに記載させていただき、
0:09:12	本件について改めて審査会合資料、
0:09:15	及び、補足説明資料、これ今回新しくスクリーンが、前回のですね、資料 16-1 の別紙 3 だったものをですね、
0:09:25	補足説明資料という形でまとめ直しまして、
0:09:29	しかも、前回までは、
0:09:32	JISG3118 と 31 オクの施策によって、成立性をご説明させていただいたんですけども、
0:09:40	ご指摘いただきました通りですね、やはりまず、特定兼用キャスクの、
0:09:47	安全設計の基本方針、
0:09:50	こちらを明確にしてですね、こちらから材料を、ツジ 25、バスケット材料の基本的な方針というものを明確にして、
0:10:01	月次に 9 号に求められるものが何かというところを明確にご説明させていただくために、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:08	資料を全体的に見直させていただきました。
0:10:13	では、次、申し訳ありません資料 1-2 の方にさせていただきます。
0:10:20	ちょっと先日ですね、藤マツダ様からコメントいただきまして一部訂正しているところを赤字で表現させていただき、
0:10:29	今回ですね、資料 1-2 といたしまして、
0:10:34	以前の審査会合で説明させていただいたものを、ちょっとリバイスというかですね、見直させていただいて根本的内容を見直して、作り直させていただいております。
0:10:45	2 ページ目、目次なんですけども説明としては、バスケット材料等設計方針の関係。
0:10:52	それから材料試験の方針、それから材料試験の結果、
0:10:56	材料規定及び製造管理規定の方針、長期健全性の考え方、天然性能に対する考え方、設計標準、設計評価基準、
0:11:06	最後に今後の方針というふうに記載させていただき
0:11:09	へえ。
0:11:11	まとめさせていただいております。ではまず、
0:11:15	めくっていただきまして右下 4 ページ、資料 1-4 ページですけれども、こちらに、バスケット材料と設計方針の関係というところを記載させていただきます。
0:11:25	ちょっと読ませていただきます特定兼用キャスクは、安全機能を満足するとともに安全機能を担保するための構造強度と長期健全性を有し、
0:11:35	初動時及び輸送時の各試験条件に対応。
0:11:38	設計が求められることから、Hitz-B69 型のバスケットは、深野安全機能に対する安全設計の基本方針に従って設計していくと。
0:11:48	その安全機能と安全設計の基本方針を表にまとめております。
0:11:53	でも読むと長いので部分的に読ませていただきます。まず臨界防止機能ですが、
0:11:59	臨界防止機能に関しては、まず臨界に達する恐れのない設計であることが前提。
0:12:05	で、正味燃料集合体を所定の規格配置技術、これが委員会防止に繋がります。それと、適切な中性子吸収材の配置を維持する。
0:12:16	これも委員会を基に、
0:12:18	これらを担保するために、機械的強度と長期健全性を有する設計が、
0:12:25	ということが基本構想案で提供方針なり、
0:12:28	除熱機能、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:30	除熱機能に関しましては、使用済み燃料集合体の崩壊率を適切に除去できる設計というのが前提になりまして、
0:12:37	適切に使用済み燃料集合体の崩壊熱をバスケットとしましては、容器本体に伝える前立腺も有する設計であることが前提。
0:12:49	次、閉じ込め機能になる。
0:12:51	閉じ込め機能に関しましては、
0:12:53	使用済み燃料集合体を内封する空間を特定企業や外部から隔離する設計であることが前提なんですけれども、
0:13:01	バスケット自体はですね閉じ込めその燃料を配布することと同一の評価にあると。
0:13:09	いうことで、
0:13:11	バスケットの設計自体が、閉じ込め機能に対して有意に影響を及ぼすことは、基本的にアリマ。
0:13:16	ですので、ここは、バスケットの設計とはちょっと切り離して考えられること。
0:13:22	遮へい機能に関しましては、
0:13:27	放射線を特定兼用キャスクの、その他移動及びスターにより遮へいする設計というのが基本的なイメージになります。
0:13:35	バスケット自体は、本体胴及びふたの、内側にあるものになりますので、
0:13:42	はい。つまり、遮へい機能としては考慮されておられません。遮へい材としては考慮しておられませんけども、
0:13:50	ということで、バスケットの設計が遮へい機能に対して有意な影響を与えることは基本的にございません。
0:13:57	ただしなんですけれども、
0:14:00	遮へい機能を満足するための本体胴の厚さを確保するという目的がありまして、
0:14:06	そのためには、バスケットを外径をですね、大型化して、
0:14:11	それと軽量化することによって、胴の厚さ、つまり、ガンマ線遮へい材の厚さをできるだけ確保すると。
0:14:20	重量制限がございますので、その重量制限の範囲内で、
0:14:25	遮へい機能をできるだけ確保すると。
0:14:28	いう設計が望まれるましたので、
0:14:31	そういった意味合いでバスケットの概要コガ私はCK用軽量化を図る設計。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:36	関氏を持つ基本的セキシボ関係を持っております。
0:14:42	めくっていただきまして右下 5 ページになります。ちょっと図にしてですねもうちょっとわかりやすくという形で書かせてください
0:14:51	基本的にはですね、今回のB-B69 型なんですけども、収納体数、燃料集合体数を 52 体から 69 点でした。
0:15:03	それから、三つ容器は当然のことながら、強靱な構造というのが必要ですけど、
0:15:08	それから逆の取扱制限重量は増えません。
0:15:12	高石へ機能が必要です。これらの条件ですね、これらの要求事項を満足するための解決方法として、バスケットの方方と経理、
0:15:23	そういうものを考えて、
0:15:25	平成 6 ページに参りまして、
0:15:28	バスケット材料の設計方針としてバスケット材料自体なんですけれども、
0:15:34	このバスケットの小型化と、
0:15:36	軽量化。
0:15:37	これを、
0:15:39	満足させるためになんですけれども、
0:15:41	Hitz-B69 月のバスケット材料は、使用済み燃料の崩壊熱を適切に除去できる、伝熱性能及び臨界防止機能を担保できる強度があり、
0:15:54	ミツイアサノ設計可能な材料が望ましいと。
0:15:58	ということになります。
0:15:59	ただし、しかしですね、ざっとの金属キャスク構造規格が選択できる材料では、Hitz-B69 型に求められる設計仕様を満足することができます。
0:16:10	行って内蔵内装する燃料の条件がございましてこれ、これらの遮へい機能を満足することが、SG部位を、
0:16:19	カセの金属キャスク構造規格から選択する材料ではちょっと難しいと。
0:16:24	ということになります。従って、その金属キャスク構造規格に規定されていない電熱性の強度が期待できるサンポコウで、
0:16:31	規定されていないが、点滅機能と、電熱性の照度が期待できる炭素 5 でJASMINE金属キャスク構造規格に規定されているSG部位をイシマルと。
0:16:42	確定分が近いの。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:44	ふやす水圧性設計可能なJISG3116のSD295を引き継ぎ69ヶ所のバスケット材料に適用し、
0:16:52	ということが、
0:16:54	次に9号を選択している。
0:16:57	そういうことになる。
0:16:58	つまり、バスケット材料、バスケットの小型コウオガタと軽量化を目指しまして、
0:17:04	その中で、条件としては伝熱性能と強度が期待できる観測。
0:17:08	熱伝導率が高い材料ということと、
0:17:11	冬水圧が設計課のつまり、ルーツやさが製造できる製造水撃実績のある材料ということで、等で各成分がSGV1まで等々ヒシカワシモノということから、
0:17:24	JISG36のSG295を選択。
0:17:28	いうことになる。
0:17:33	めくっていただきまして、右下7ページになります。
0:17:36	これはバスケット材料自体の、バスケットの設計方針になるかと思うんですけども、
0:17:41	バスケットの設計方針といたしましては、設計書が60、
0:17:46	ヘリウムガスを挿入し、不活性ガス雰囲気維持される。
0:17:52	それから、最高使用温度が300。
0:17:55	最悪大所しないホルダーとして消費者、
0:18:00	材料試験の基本方針といたしましては、雑な材料規格、
0:18:05	の新規材料採用がいろいろガイドラインに準拠して材料試験を実施します。
0:18:11	て機械的性質等の必要な材料特性を、
0:18:16	1、
0:18:17	設計用強度の基本方針といたしましては、材料試験で取得した材料特性から、新規材料採用が委員の設定方法、ガイドラインで示されている設定方法により、
0:18:29	Sy値等の設計降伏点設計を、強度ですね、こちらを保守的に設定する。
0:18:39	次に、製造管理の基本方針、下の表にJISG3116と13118の規格を比較したものを載せております。
0:18:49	左のスズキ31記録の中で特に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:54	形のない製造方法ベッショリ、それから、炭素等量及び溶接割れ感受性、
0:19:00	それから、据付処理、
0:19:03	3 サトウ溶接割れ感受性に関しましては、こちらはそもそもですね、
0:19:09	熱加工制御を行うSGV450 とか、CV48 まで引っ張り酸素量の多い材料、
0:19:16	こちらの方に適用される規定なので、SG10 と相当する、SD25 に関してはそもそも規定する必要はないと。
0:19:25	で、その中で製造方法に処理、それから、コウテライベッショ流動、こちらに関しては、明確に規定しており、
0:19:33	ということで、今回の対応規定の中に盛り込んでおります。
0:19:41	その次のページは、次、SG29 号とSGVの各材料ですね、こちらの各成分、機械的提出を比較してるものです。
0:19:54	よくご覧になっていただいて、説明は割愛させていただき、
0:19:59	続きまして 10、右下 11 ページからになるんですけども、材料試験の項目、こちらも前回からずっと説明させていただいてる内容ですので、こちらも基本的には内容は変わりません。
0:20:12	材料試験の結果、14 ページ以降の内容もですね、前回審査会合で説明している、実際に材料試験で取得した科学的%程度の機械的性質、
0:20:25	それから、機械的強度、本強度ですね。それから、本当に先生のある材料特性ですね。
0:20:34	ハード、
0:20:36	それから熱伝導率、比熱。
0:20:39	線膨張係数等々の
0:20:43	所。
0:20:45	記載させていただいており、
0:20:50	23 ページから、これも前回から基本的には変わりませんけれども、今回新たに補足説明資料で説明させていただく材料規定の方針というものを定めておまして、
0:21:02	そちらの要約を記載させていただいております。
0:21:05	材料規定といたしましては材料名称材料規格、
0:21:09	設計応力強さ、設計引張応力、設計降伏点、設計引張強さ。
0:21:15	縦弾性係数線膨張係数、それぞれを規定させていただこうと。
0:21:21	で、その次に製造管理規定の方針といたしましては、
0:21:25	把握整理、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	こちらはJISG3116に準拠する。
0:21:29	製造方法、こちらは、コウハン及び抗体は、滞留器具の方から製造するというのでJISG318。
0:21:38	峰処理、こちらは清野とするということで、こちらも次辻井 3118。
0:21:43	沈む事項対策として冷間加工グループ長と思ってます。
0:21:47	そういうことは、規定の中に盛り込んでいくと。
0:21:51	機械的性質に関しましては、JISG31621をテライベツシヨ流動に関しましては、
0:21:57	こちら30ツジ38日にするというので、大瀬請書流動5以上、
0:22:03	参加要請アルミの分析値を0.015%として、
0:22:08	形状寸法質量及びその他協賛、教唆
0:22:12	こちらに関してはJISG31を準拠して品質管理に関しては、より厳しいJISG318です。
0:22:19	ということで考えております。
0:22:21	25ページ以降は、その材料規格、それから学生。
0:22:28	て規定する、
0:22:32	設計要求、
0:22:33	それを載せております。
0:22:36	27ページは、
0:22:39	材料の温度、今度における縦弾性係数や、線膨張係数を記載させていただいておりますが、これはJASMINE、
0:22:47	材料規格から、
0:22:54	続きまして、28ページに関しましては、製造、材料自体の製造フローを載せておりまして、
0:23:03	こちら、前回ですね、このRIS
0:23:08	ゲーというか、
0:23:10	流れ、フローになっております。ものと、下の、
0:23:16	横に記載されてます呉の方はですね、
0:23:20	期するように番号を振ってくださいというお話がありましたので、
0:23:24	連続中5から巻き取り機までの方にそれぞれ対応する番号を振っており、
0:23:33	29ページに関しましては前回、コメント回答の方で説明させていただいた内容のそのままできて説明を割愛させていた
0:23:45	続きまして、31ページ、長期健全性の考え方になります。
0:23:49	こちらに関しましては以前まで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:54	別紙 3 のですね、添付書類という形で、ご説明さ、材料試験のナカというもの。
0:24:01	説明と一緒に説明させていただいたんですけども、今回、こちらに関しては補足説明資料 1-2 の中に、ちょっと本文の方に取り入れさせていただいてご説明させていただいております。
0:24:13	補足説明資料 1-2 の 16 ページに詳細を記載させていただいておりますが、
0:24:18	基本的な内容といたしましては、
0:24:23	基本方針に従って、経年変化の要因を考慮し必要とされる影響度と性能を維持する必要があると。
0:24:30	ということで、バスケット材料として期待する機能は、委員会を整理するための機械的強度であり、経年変化による機械的強度の劣化を考慮する必要があると。
0:24:40	ダテ設計貯蔵期間において経年変化の要因と考えられる熱的影響放射線影響軽減、
0:24:47	放射線調査による影響及び腐食の影響による機械的強度に対する超勤井清の考え方を、次の通り説明するということになっており、
0:24:57	内容といたしまして、右下 32 ページからになりますけれども、まず熱的影響で考えられるものが、高温強度クリープ懸念体制のことが泉事項と、
0:25:07	四つになりまして、
0:25:09	本協定に関しては、400 分までの範囲であれば、著しくデータアナリスト試験で確認しておりますということで、
0:25:19	クリープに関しましては、
0:25:23	9 点はその炭素 IV. 2%、酸素量は 0.2% 以下の炭素法の融点が 1490 度、
0:25:31	なりまして、
0:25:32	これを三分の 1、つまり絶対温度の 3 分の 1 で、314 度になるんですけども、
0:25:39	ここまでは、FLIP ハダ及び変形を考慮する必要がなく、試験を、使用温度条件が 300 度以下であれば、
0:25:48	強度に対する、
0:25:52	全体との報告、こちらに関しましては、セメントの喧嘩自体がですね始まるのが、
0:25:58	480 というか、長期的な関係で 480 度以下ということになりますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:04	こちらに関しましては、セメントタイプ 48%、
0:26:08	共用温度がですね 485 以下になりますので、
0:26:12	セグメントイクノ見解に伴う劣化を考慮する必要はないというふうに考えており、
0:26:17	最後に泉事項になりますけれども、泉コウに生じた局部は効果によって、脆性破壊のリスクが高まる可能性があるかと。
0:26:24	ということで、バスケット材料は明確で生じた残留オルゴール局です。応力創造に除去するため、
0:26:31	生産確保に適切な条件で応力場所存し材料の衛星及び衛星を開発させると。
0:26:37	二つなお適切な条件の応力構造により、応力場強調損に伴う機械的強度の劣化は、本来ならば、
0:26:46	いうふうに考えております。
0:26:50	続きまして、右下 33 ページになります。こちら、放射線の照射による影響方法について関係に記載しております。
0:26:58	炭素コウ自体はですね中性子照射による照射脆化というものが考えられるんですけども、
0:27:05	こちらに関しましては 2.2×10^{-15} 条、入組ん%え一、
0:27:12	スケアセンチという以下であれば、
0:27:15	顕著な成果が起こらないということが確認されております。
0:27:19	そちらに対して、今回の Hitz-B69 型の一番厳しいこの部分での中性子累積中性子照射量になりますが、
0:27:29	こちらが 1 掛け 10 の 16 条に
0:27:33	ニュートロン%スケア選手ということになりますので、
0:27:37	こちらに関しては機械的強度に対する忠誠心ではないというふうに、
0:27:42	腐食に対する環境ですが、腐食に対する県環境もですね、
0:27:48	先ほど申し上げました通り減りオオノ環境下で活性ガス管環境が維持されるということであれば、
0:27:56	基本的に不足することはない。
0:27:59	ただ、瞬間その過程ですね、残留水分が残る場合がありますしてそれが 10%以下であれば、基本的には諸食う。
0:28:09	呉による影響はないと考えておまして、その 10%という数値もですね、これまでの実績で管理できる数値である。
0:28:17	ということが、
0:28:19	また、燃料、フカワの破損、こちらを考慮した場合でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:24	基本的には、ちょっと詳細な説明は割愛させていただきますけども、
0:28:30	1%の燃料破損相当の燃料被覆管の要素ガスの漏れですね、こちらを考慮してもですね、基本的には腐食による構造強度への影響はない。
0:28:41	いうふうに考えており、
0:28:44	続きまして、右下 35 ページになります。35 ページの方には伝熱制度に対する考え方を記載させていただいております。
0:28:53	KSKの評価で期待されている制度として一般的な炭素コウノ、常温の熱伝導率は、
0:29:00	D43 は、ぱメーター。
0:29:04	こちらは、
0:29:05	下の表で見ていただきますと、
0:29:08	スタート法の中ですね、常温の
0:29:14	つまり常温というのが、これ全部ケルビン商品なんですけれども 300keV。
0:29:20	上になるんですがその 300 ケルビンのあたりで最も
0:29:25	値が小さいものが、機械構造用炭素法 1 サンゴC-43。
0:29:31	ワット%メーター記録になりまして、それ以上のものであれば、基本的には熱伝導率として一般的なスタート法と、
0:29:40	ということで、SE9 本熱伝導率は試験結果なんですけども、先ほど、ちょっと飛ばしましたけども、21 ページのところ、
0:29:49	熱伝導率記載しておりまして、
0:29:53	21 ページの上の表の下に平均値を記載させていただいてます。常温が 58 ワット%ケルビンがワット%メーターケルビンで、
0:30:05	使用温度の最高使用温度である 48 ワットメーターケルビンまでであるということで、
0:30:12	は 43 ワットメーターケルビンを上回っているということでSD5 は、秋田イデ積載される電熱機能を有しているということを確認しております。
0:30:25	最後はですね設計基準、37 ページになりますが、こちらに関しては以前説明した通りなので、説明を、
0:30:34	割愛させていただきます、
0:30:36	最後のページ、今後の方針についてということで、39 ページ。
0:30:43	まず、①として、平均点について、
0:30:46	申請書本文について、塀その他主要な構造に助けた材料として使用するSD9 号の合致材を説明を追加し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:56	4.7 長期健全性にバスケット材料として、として、すみません、ちょっと誤字が
0:31:03	脱字がございます。
0:31:05	考慮される長期健全性について説明を追加する補正を行う。
0:31:10	また、申請書別添 1-1 バスケット用材料に関する説明書については、補足説明資料 1-2 の方針に従って、記載内容を補正することと、これは、
0:31:20	材料規定と製造管理規定を盛り込んでいきますということになります。
0:31:26	②といたしまして、応力状況調査の適切な条件の策定について、
0:31:33	ミツイ 69 月のバスケット材料として使用するSD29 号は、泉事故対策として冷間加工高に動力的創造を施すこととしていますが、
0:31:43	次に 9 号に対する応力状況等の知見が十分とは言えないため、追加材料試験を後段審査までに実施し、
0:31:50	ユフは応力出不精損の条件を確認することです。
0:31:54	いうふうに
0:32:02	今回ですね。
0:32:05	泉コウ等に関しては、簡単に今説明させていただきましたけれども、
0:32:11	取り組み事項につきましては、資料 1-3、
0:32:18	別紙 2 の 1 ページ。
0:32:20	へえ。
0:32:22	バスケット用炭素コウノ、冷間加工に伴う脆化の成果とその対策についてということで、詳しく説明させていただき、
0:32:33	ちょっと説明者、
0:32:37	言って説明者を交代いたします。日立造船の竹内でございます。
0:32:41	補足説明資料 1-2、別紙の 2 でバスケット用、
0:32:47	すみません、少々、
0:32:52	バスケットタンク後半の冷間加工に伴う生活の対策について説明いたします。
0:32:58	これ資料としては、大きな流れとして概要としてですね、そのひずみ事項がどのようなものかということを文献により説明をしております。
0:33:11	また、そのひずみ事項が、このバスケットのタンク後半にどのような影響があるのか。
0:33:18	いうことを述べるとともに、またそのひずみ事項対策としての照度の効果を検討した結果について説明をさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:27	ちょっと時間の都合上、なるべくちょっと割愛しながら説明をさせていただきます。
0:33:33	2 ポツの炭素後半における歪事故のところについてです。鋼におけるその他泉事項について説明をさせていただきます。
0:33:45	ひずみ事項が生じる原因が、冷間加工によって増殖された転移等の内部欠陥に、カーボンや窒素などといった、雇用元素が集合して、
0:33:58	定員を拘束する結果降下して、追加するようなものであると。
0:34:02	いうことを文献に基づいて説明をさせていただきます。
0:34:08	その次、3 ポツですね、バスケット用担保鋼板に対する歪事項の可能性と、
0:34:14	いうことで、別紙 2 の 2 ページの方にですね、コンパートメントの製作及び共用のフローを示してございます。
0:34:23	バスケットの炭素後半は、コイル材を、①で、生食ですね、ヒライ谷コウまで直して、さらに 02 のところで、
0:34:34	靈感によって曲げかこの字型に曲げ加工を施します。
0:34:38	さらに溶接も共用するということで、このコイル材を、ヒライ谷起こした時の冷間加工ですとか、さらにこの時にした際の曲げ加工によって、曲げ R 分にひずみが蓄積されます。
0:34:53	このひずみが、共用に伴う熱を受けることによって、材料の中に固溶しているカーボンですとか、窒素等がひずみの部分に集まってきて、
0:35:05	転移の動きを止めてしまうことで、成果をする可能性があると。
0:35:09	いうことが、バスケットに、材料における歪事項の可能性と、
0:35:14	いうこところになります。
0:35:17	続きまして、
0:35:22	めくっていただきまして、別紙、2-3 ページ、こちらでは、バスケット用タンク鋼板のひずみ事故の対策について説明をしております。
0:35:33	泉事項で脆化した鋼に対してですね、600 度前後で応力除去照度ん施すことで、ある程度靱性が回復するということが文献、参考書によって示されてございまして、
0:35:48	そちらの説明をしております。ロジックとしては、気づき事項はそもそもその鋼が冷間加工を受けた後に、100 度から 250 度に加熱されることで、
0:36:01	冷間加工で増殖させられた転位が、に雇用している元素が集合することで起こる現象。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:08	いうことを前段の 2 ポツで述べさせていただいております。すなわちです ね、この 600 度前後の応力除去勝井によって、鋼に内在する変異の 量、
0:36:21	少なくしてあげることで、ひずみ事故を防止できるというふうに考えられ ます。
0:36:28	別紙 2 の 3 ページにおいてですね、図の 2-2、A のところに、冷間加工 した鋼、こちらコンマ 08%カーボンの
0:36:39	焼きなましによる機械的性質の変化を示してございます。
0:36:43	縦軸、上側が引張強さになっておりまして、こちら、横軸には温度をとっ ております。
0:36:51	冷間発煙率が例えば 20%、59%、74%ということで、三つの冷間発電 を与えた材料に対して、横軸の温度ですね、熱処理を加えることによっ て、
0:37:04	引張 0 性、低下していくということがわかるかと思えます。
0:37:09	このようにですね、冷間加工を施された材料、600 度前後の照度によっ て、ほぼ一定の値に強度が落ち着いていると、ということがわかるかと思 います。歪事項に対しては、この 600 度前後の応力除去照度んが、有 効であるというふうに考えられます。
0:37:27	続きまして、別紙 2 の 4 ページ、5 ポツ、バスケット用担保後半の強度 に及ぼす勝井の影響について説明をしております。
0:37:39	特に今回ですね、我々日立造船として、この SG295 材に対して、熱処 理を施すことによって、要するにひずみを与えていない、母体の強度に 変化が及ぶかどうかと。
0:37:55	いうことを本日まで確認をして参りました。
0:37:58	その結果というのを、この 5 ポツでは示してございます。
0:38:04	特にですね今回、別紙 2 の 5 ページに基づいて説明をさせていただきます ますが、まず表の 2-1、供試材の化学成分及び機械的性
0:38:16	ということで、設計用強度の設定に用いております標本三つの中で、今 回保守的に最も強度の低い材料を供試材として選びまして、
0:38:27	この赤い点線で囲まれております標本について今回試験をしております す。
0:38:34	で、別紙 2 のすみません、表の 2-2 ですね、こちらに試験の熱処理の 条件を示しておりまして、保持時間として個人温度としてはですね 600 度から 675° の範囲。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:49	さらに個人時間は 600 度のみ、1 時間の保持でして、残りの条件では 2 時間の保持による熱処理を施してございます。
0:38:59	この結果というのを別紙、図の別 2-3、一番、2-5 ページの一番下の図ですね、こちらに示してございます。
0:39:09	受け入れ材と書いているところが、グラフの一番左側白抜きの丸ですね、の部分にあるかと思えます。今回、強度の推定において、
0:39:23	3 日深さをはかることによって、影響度の推定を行っております。一括かたさというのはですね、ダイヤモンド性の発信を試験編の表面に押し込んでくぼみを作って、
0:39:36	そのくぼみの大きさから硬さを測定する方法でございます。
0:39:40	このリッカー深さというのは、
0:39:45	硬さから引っ張り強さに換算できるということが一般に知られておりまして、Ss-A 飯野換算表を用いて今回引っ張り強さに換算をしております。
0:39:57	すいませんちょっと話が飛びましたけれども、図の 2-3 に戻って説明をさせていただきます。左側、グラフの左側経済、白抜きのマルですね。
0:40:09	こちらの方性、139 ということで、測定した硬さを引っ張り強さに換算しますと 400、53MPa となります。
0:40:19	この値というのが、表の 2-1 に記載をされております。今回試験した標本 2 の引っ張り強さと一致することから、この硬さを打つことによってその引っ張り強さに換算するということの妥当性が確認できます。
0:40:35	さらに、熱処理を加えた材料について見ていきますと、600 度 1 時間から 650 度 2 時間までの熱処理によってですね、
0:40:46	材料の硬さ、すなわち強度が低下しないということが見てわかるかと思えます。
0:40:51	さらに、例えば焼き戻しパラメーター、横軸ですね整理をしたときに、その C の値が、すいません、M の値が大きくなる 675 度、2 時間等の熱処理では、
0:41:05	硬さが低下すなわち引っ張り強さが低下すると、ということが今回の実験からわかりました。
0:41:14	以上からですね、バスケット用炭素コウハンに対して、例えば温度を 650 度以下、時間を 2 時間以下の照度を施した場合、
0:41:24	受け入れ材と比較して、強度の低下ですとか、金属
0:41:29	すみません、ちょっと金属組織の話が飛んでしまってます。また申し訳ありません。別紙 2 の 6 ページを参照ください。こちらにはですね、この硬さを売って、引っ張り斜に換算した材料について、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:46	金属組織を確認しているものとなっております。
0:41:52	この受け入れ材では、ステライトとパーライトの混合組織を呈しております、この高倍率で拡大しているものですね。
0:42:04	セメントイト、要は、テスト、炭素の化合物、フライトがホウジョウになっている金属組織を呈しております。
0:42:13	こちら、625 度に時間 650 度に時間の熱処理が加わりましても、同じ金属組織を呈しておりますが、675 度、2 時間、より厳しい熱処理条件となっておりますと、
0:42:27	この金属組織が、圧延ママから変化して、層序の組織が分解して、この図中で、黄色の矢印で示しております窮状化した。
0:42:39	Feするイシイというふうに、金属組織の形態が変化をしております。
0:42:45	すなわちですね、650 度 2 時間までの熱処理であれば、ネックハセガワ材と、金属組織の変化はないと、ということがわかりました。
0:42:54	以上からですね、バスケット用炭素鋼板SG295 に対して、温度を 650 度以下、時間を 2 時間以下の照度を施した場合、
0:43:05	経済と比較して、強度の低下ですとか、金属組織の変化は認められませんでした。
0:43:11	従って、この条件範囲での応力除去照度んは、バスケット用さんと後半のマニュアルにおける気づき事項対策として有効と考えて考えられます。
0:43:22	以上が別紙 2 のの説明になります。
0:43:30	説明者を交代いたします日立造船の樋口でございます。
0:43:34	戸部主任の方のちょっと補足をさせていただきますと、条件としては 650 度、2 時間までの範囲内ということで、文献からすると、650 度、600 度の範囲内で、
0:43:47	1 時間なり 30 分等を応力融合する調査をすることによってひずみ事項が抑制できると、ということが確認できてます。
0:43:56	ただですね、次に 9 号ザイゼン北井についてはまだ確認が取れておりませんので、こちらにつきましては先ほど資料 1-2 の最後でご説明、最後の、
0:44:07	今後の方針についてご説明した通り、追加の試験を実施して確認すると。
0:44:12	ということにしております。
0:44:14	補足説明資料の今回の資料の 1-3 なんですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:22	今回全体的にちょっと見直しをさせていただきまして、基本的には先ほど概要パワポでご説明した内容と同一の内容になっておりまして、さらに詳しい内容をこちらに記載して、
0:44:33	引用している文献等もこちらの方で、すべて記載しておりますので、こちらでご確認いただければと、補足説明資料 1 の方でご確認いただければと考えます。
0:44:46	SG295、9 に関する説明は以上に、
0:44:54	規制庁マツノです。
0:44:57	ではSG2Q5に関連して質疑の方に入りたいと思います。
0:45:05	まず最初に、技術的な観点から、何かコメントがあればお願いしたいと思いますけども。
0:45:15	小沢さんから何かコメント指摘確認事項等ありますでしょうか。
0:45:22	はい。規制庁の小澤です。ご説明ありがとうございます。
0:45:27	大分説明がすっきりしてきてわかりやすくなってきていると思っています。
0:45:33	それで、2、3 確認させていただきたいんですが、
0:45:38	まずですね。
0:45:41	高温強度の考え方なんですが、
0:45:45	高温強度評価されているのは、kれない。
0:45:49	のままのもの。
0:45:51	400 ドイか。
0:45:54	の温度に設定してですねそれぞれ試験をして、それで評価されてると思うんですが、
0:46:01	実際に使うものは、今、例えばご説明いただいたように、
0:46:08	照度を施した材料を用いるわけですねそうした時にそのバスケットの構造材として、ちょうど施したのもでも、
0:46:20	同じようにですね高温強度、
0:46:24	400 ドイか、高温と言うかどうかはあれですけど、高温強度が担保されるのかという御説明が必要かなと。
0:46:34	考えていますが、いかがでしょうか。
0:46:41	日立造船の竹内でございます。質問ありがとうございます。こちらについてですね、別紙 2 の、
0:46:51	先ほどちょっと説明を差上げた通りですね例えば別紙 2 の 6 ページの
0:46:59	2-4 ですね図の 2-4 で、説明をしてございますように、熱間圧延継の材料に対して、勝井材、特に 650 度 2 時間までの熱処理であれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:13	金属組織の変化がないと、いうことを確認してございます。すなわち常温での強度や組織に変化がないものでございますので、
0:47:24	高温での強度も、レッカー仙波材と熱処理材で同等と考えてございます。
0:47:35	規制庁小澤です。ありがとうございます。これ一ですね冷間確保されたところ、今回は圧延継のものをちょうどしたというお話でしたけど、
0:47:49	冷間確保された部位というのはまたちょっと組織の変化とかが違うのかなと思うんですがそこ、その辺はいかがですか。
0:47:59	はい。ありがとうございます。冷間確保された後の材料に対する照度の効果ですねこちらについては、ちょっとまた後段審査までの間で実験、
0:48:11	弊社の方で行いましてその結果に基づいて説明をさせていただければと思っております。よろしいでしょうか。
0:48:22	はい。私としては、技術的な、承知しました。
0:48:29	それとあと少しちょっと気になるのが、
0:48:32	図の
0:48:36	別紙2の5ページですね。
0:48:39	約、焼き戻しパラメータと一括型さあでプロットされている図がありますが、
0:48:46	これ平均をぼつんとしか売ってないんですけど、
0:48:51	床令和平均で1点とるというよりは生データ、再差最大値、最小値を含めたですね生データを、
0:49:04	お示しいただいて、それで説明いただく方が、
0:49:08	評価のですね、プロセスが透明性を持ってですね、説明されるのでよろしいんじゃないかなと思うんですが、これ生データをお示しいただくことは可能ですか。
0:49:21	はい。今この場ということじゃなくて審査会合の場で、生データをもとに基づいた説明というような理解でよろしいでしょうか。
0:49:32	はい。ご説明の中でですね、そのようなデータが示されていればいずれも構わないと思います。
0:49:42	少々お待ちください。
0:49:58	日立造船の樋口でございます。今、補足説明資料の1-2の別紙2の5ページに示しております図別2-3ページ、3のグラフなんですけども、
0:50:10	こちらを、生データを用いたグラフへ変更させていただくということはいかがでしょう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:19	はい。そうしていただくとわかり
0:50:22	なんていうんすかね。評価のプロセスが明確になって良いかと良いかなと思います。
0:50:28	はい。日立造船の樋口でございます承知いたしました。
0:50:34	よろしくお願いします。
0:50:40	はい、規制庁松野です。その他、何か確認。
0:50:46	質問等ありますでしょうか。すみませんもう1点よろしいでしょうかお願いします。小澤です。
0:50:52	これ、
0:50:55	図の2-3は日活で、
0:50:58	これは結局、換算すると、光調査だけ。
0:51:04	効果評価できるという、
0:51:08	ことだと思うんですが、
0:51:10	せつかく設計強度上は降伏点等もですね設定されていると思いますが、全体としてどのように、もう少し説明が丁寧な説明が必要かなと思うんですが、
0:51:24	いかがですか。
0:51:29	先ほど口頭でご説明いただいた組織の変化と、あと4、400度以下でもそう変わらないから、強度上は担保されるとかですね。
0:51:40	そのようなご説明でもういいと思うんですけど、もう少し説明を丁寧にさせていただきたいと、そういう趣旨です。以上です。
0:51:53	はい。日立造船の武内でございます。今小澤様からおっしゃっていただいたかな、お話ですね。まず、
0:52:03	常温の強度や金属組織に変化がないために高温での強度の変化もないと考えられる旨の記載に加えまして、
0:52:13	また降伏点と引張強さ、引張特性に対する指標についてはですね、後段審査までに、
0:52:25	すみません追加の引張試験ですね、勝井材に対する引張試験も含めて、実際の機械的性質引張強さや降伏点を、実際の試験結果に基づいた、
0:52:38	説明をさせていただきたいと思っております。
0:52:44	社長小沢です。了解しました。私の説明、質問を終わります。以上です。
0:52:54	規制庁、松野です。
0:52:56	では、その他何か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:59	質問、確認事項ありますでしょうか。
0:53:04	規制庁のテラノです。今、おそらくご説明いただいた資料の、
0:53:09	1-1-2 の、
0:53:13	39 ページ目の、
0:53:15	総応力除去照度の適切な条件の策定についてというところに関連して、 高温のやっぱり他の諸条件で、
0:53:23	防いだ。
0:53:26	上げ、
0:53:27	関わる部分の強度なんかは、今後確認されるっていうところ。
0:53:31	ていうご説明だと思うんですけど。
0:53:33	そこについて何かその見込みって言ったら変ですけど、どの程度、見込みが、
0:53:41	今の実験結果とそぐわない結果が出てますよという見込み的なところですね。
0:53:53	はい。ご質問ありがとうございます。日立造船の竹内でございます。まず見込みといったところで、例えばですねその小ぞんざいの強度についてです。まずは引張強さでおそらく、
0:54:06	3 日ツカモトからの換算値に変化がないために、引張強さに変化がないことは実験的に確認ができております。また降伏点については見込みとしては金属組織に変化がないことから、
0:54:19	降伏点も同じであろうと、いうふうに現在見込みとして考えてございます。
0:54:24	また歪事項、応力除去照度んで抑制することができる、防止することができるかどうかの見込みについても、やはりその文献に基づいた説明ですね。
0:54:37	別紙 2 の 3 ページの 2、2-2 ニイツ、こちらに示しておりますような、
0:54:46	ごめんなさい。すいませんちょっとお示しする図が、
0:54:50	違います。はい。
0:54:52	はい。
0:54:54	吸引が、別紙、2-3 ページの 2-2 図ですね、冷間加工によって、引張強さが向上した材料、こちらに 600 度程度の熱処理を施すことによって、強度が十分一定の値まで低下すると。
0:55:11	ということが三光小文型によって示されておりますので、こちら、0.08%カーボンの材料です。当社の材料も、これに近い材料でございますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:23	見込みとしては十分に気づき事項を 600 度程度の応力除去所存で防止することができると考えております。
0:55:34	規制庁の世良ですとか、ありがとうございました。そうすると、今、
0:55:39	それぞれ、
0:55:40	セキQ値ある程度決めて他の構造計算とか、いろいろそこで、
0:55:44	反映させて評価いただいておりますけどそこについても特に大きい、沢川矢内とかそういう、評価条件で使ってる既存使って、
0:55:58	はい。日立造船の樋口でございます。ご理解の通りでございます、当社といたしましては、泉事項に対する追加の試験を行いますけれども、この試験結果が設計に影響を与えるとは考えております。
0:56:13	はい。
0:56:20	規制庁松野です。
0:56:22	その他いかがでしょうか。
0:56:31	すいません、櫻井ですけど 1 点いいですか。
0:56:35	はい。お願いします。すいません。私から、資料 1-3 の別紙 2 の、
0:56:43	2 のコンパートメントの製作及び共用のフローの中で、3 番目で、
0:56:50	よすレーザー溶接ってあるんですけど、このよ。
0:56:53	溶接、この時の、
0:56:57	この板をくっつける時のこの溶接の条件って決まったりするんですか。
0:57:16	あれ決まっています。決まってない。日立造船森本です。具体的にはまだ決まってなくて、製作前に施工法、
0:57:26	試験、溶接施工方式を行いますのでそこで条件を決定することといたします。
0:57:32	はいこれを聞いた人っていうのは
0:57:36	ちょっと素人ながらですけど、このこのgをくっつけたときのこの溶接したところの強度とかがどうなるのかなあとと思って。
0:57:44	今お聞きしましたので溶接な。
0:57:48	今おっしゃってた精査食うの得意に決めますってことなんですけど、
0:57:54	であれば型式指定とかそっちのところ、政策に関連するところでまた溶接条件どうなるのっていうのは、
0:58:02	聞くことになると思うので、準備いただければなと思います。そこら辺の
0:58:09	くっつけそこで溶接してくっつけたとしても強度を持ちますっていう、ご説明になるかと思うんですけど、次、
0:58:18	して、多分聞かれると思うので、準備しといてください。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:25	日立造船森本です。
0:58:27	型式指定ではそこまで細かいところまでっていうのは、
0:58:33	説明は、
0:58:36	不要なのかなと思ってますけれども、
0:58:39	いかがでしょう。
0:58:41	それでもくっつけた時って、2は切手を俺じゃないですかって聞かれたら、どう説明するんですか。
0:58:49	日立造船森本です。基本的に溶接した後の強度が母材以上であることっていうのが溶接施工法試験で合格するための条件。
0:59:02	一つの条件なんでそれはクリア。
0:59:05	できるということでその前提で進めておりますが、
0:59:11	そういうことを説明すればいいんじゃないですか。それでよければはい説明さしていただければというかそちらがどれだけ提示してくるのかわかんないんですけど今常勤決まってないんですよ。
0:59:25	私も別に溶接のプロじゃないのでこっちの町内にいる溶接よく知ってる人に聞いたりとか、いろいろしますけど、
0:59:35	一つの、例えばくり抜いて引いた形ですっていうよりかは多分くっつけるっていう、
0:59:42	工程が入ることによって、端的に見たらちょっと弱くなるんじゃないのって思わ思われても仕方ない構造なのでそこら辺の説明はしっかりした方がいいと思います。以上です。
0:59:55	活動性モリモトです。承知しましたサンプル的なものでも、
1:00:01	谷さん、お示しできれば、
1:00:10	規制庁マツノでその他何かはいい。
1:00:17	斉藤先生です。江藤先ほど樋口から説明させていただいた
1:00:23	資料1の、
1:00:29	資料1-2、バスケット材についてのパート対応説明の中の、4ページ目のところの説明の、遮へい機能に関するところの説明でちょっと誤解されるかなというような表現でいうと、
1:00:40	バスケット材料を、当間考慮しない、謝罪で考慮しないというような発言があったんですけどもモデル上は燃料集合体、均質化して、
1:00:51	含まれるというところに、そういう形で考慮することになっておりますので、訂正させていただきます。
1:01:02	はい。
1:01:04	規制庁松野です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:07	ちょっと私の方からちょっと全般的なところも含めて幾つか確認したいと思います。今回SGに警護の関連費が
1:01:16	前回の冷やでのコメントを踏まえて、資料の構成から内容見直されたということで、
1:01:24	今回
1:01:26	資料の一位の2でパワポ資料で、最初の冒頭に、SD29号と設計方針との関係が示されて、
1:01:36	で一応資料の内容の説明としては、
1:01:40	資料の1-2号、
1:01:44	4ページ目。
1:01:45	5ページ目に、
1:01:50	それで、
1:01:52	安全機能ごとに基本方針が書かれてあって、
1:01:57	普通の中の臨界防止機能のところの機械的強度と長期健全性っていうところがメインに説明されてるか。
1:02:05	その他魔女ねっす。
1:02:07	は、
1:02:09	伝熱性能の考え方が
1:02:12	それで追加なって、
1:02:14	遮へい機能については基本的には有意な影響を及ぼさないんですけども、
1:02:20	この遮へい機能のこのただし書きのところが非常に、
1:02:24	気になる文章でして、
1:02:27	その次のページの5ページ目を見ると、
1:02:31	解決方法としてバスケットの小型化と軽量化で、右下に高い遮へい機能が必要という
1:02:39	この者高い遮へい機能が必要とSG29号の関係っていうのが、いまいちちょっとよくわからなかった。
1:02:48	そもそも、
1:02:49	4ページ目のただし書きの記述っていうのは、
1:02:53	そのSG29号の材料を取り入れるにあたって、
1:02:58	このただし書きってのは必要な、
1:03:02	そもそもただし書きで、このSG2級を剤を使用することによって、
1:03:08	同社へ高い遮へい機能が、
1:03:11	必要だっというところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:13	ロジックっていうか説明のストーリーがちょっといまちよくわからなかったんですけども。
1:03:19	はい、どうぞもう一度説明お願いできますか。はい。日立造船の樋口でございます。大変失礼いたしました。コメントありがとうございます
1:03:27	おっしゃられることが理解できました。
1:03:32	設計の基本方針として、遮へい機能という観点で言えば、一段落目の内容までで、
1:03:43	ただし書き以降は正直ない。
1:03:47	ただ、その遮へい機能を満足することは、この内容の通りなんですけども、遮へい機能できるだけ確保するためにですね、
1:03:57	材料の同会計の厚さを確保する上でバスケットを小型軽量化するというのは、基本的安全機能と、
1:04:07	根本的には関係ない話。
1:04:09	なので、
1:04:10	ここに記載するのができる。
1:04:13	で、ちょっとここはちょっと表現を、
1:04:16	見直させていただきたい。
1:04:18	規制庁わかりますし、すいません。わかりました。ちょっとそのあたりの記載はちょっと見直しをお願いします。
1:04:26	あと除熱の方ですけども、
1:04:30	4 ページ目に、
1:04:33	基本方針として、伝熱性能を有する設計とするっていうことで、
1:04:38	この同じ資料の中の、
1:04:42	等 35 ページ目に、
1:04:46	伝熱性能に対する考え方があって、
1:04:50	ここの一番上の説明文を、
1:04:53	読むと、
1:04:55	一般的な短足を、
1:04:59	平均で 48.0。
1:05:02	今回、
1:05:04	バスケット材料として用いれツジ 295 平均 58。
1:05:10	平均よりもJNES熱伝導率が高いということの説明で、
1:05:16	基本この一般的なその炭素コウノこの平均値を、
1:05:21	比較する理由としては、
1:05:24	別にこれがあんまろうが下ろうが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:29	伝熱性能として、
1:05:31	ハタいう。
1:05:33	以上であればいいとか、
1:05:36	何か、
1:05:38	平均値をも持ち出す理由ってのは何かあるんでしょうか。
1:05:44	日立造船の木口でございます。コメントありがとうございます。
1:05:48	すいません。これ平均と書かせていただいているのが、
1:05:53	これSGに救護自体の熱伝導率の平均、計測したウタんを、平均したもののということで平均と書かせていただいているんですけども、
1:06:03	それが常温の場合に 58 ワットパーメーター切る。
1:06:08	300 度で、平均で 48 ワットパーメーターきて、その 43 ワットメーターパーセク品っていうのが一般的な
1:06:18	炭素コウノ状オオノ熱伝導率。
1:06:21	という話。
1:06:22	ですけれども、それが、43 はパーメーター減る分以上ってということで、それが現実工学資料の中から見れますということで、
1:06:33	これこれで、この 43 ワット%メーターケルビンで除熱解析。
1:06:43	のコンパートメント等の助成は評価しております、
1:06:48	これ以上の三つエンドウ率があればですね、それだけの伝熱性能を有するということがいえるかと。
1:06:56	ちなみに 2、
1:07:01	金属キャスク構造規格で用いられているこのSG、V410 月、
1:07:09	伝導率はどのぐらいかってのはわかる。
1:07:18	はい。日立造船の角です。金属キャスク構造規格では熱伝導率というのは構造の物性値はございませんので、
1:07:28	そちらの記載ではなく、この評価として熱の評価としましては、別途伝熱工学の方の連通管系の物性値から、
1:07:39	炭素コウノアノ物性値を使用しております。そして使用してるものが、こちらの同じ 43。
1:07:46	この同じアノ物性値を使用しております。はい。
1:07:52	その他、
1:07:53	SGV410 っていう熱伝導率の値ってのはわからないということで、
1:08:00	はい日立造船の方ですわからないといいますか一般的なものを使用するということにしております。
1:08:11	あれ、炭素の量とか何か、そのビジョンがいろんなやつ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:16	割合で観測の中で、
1:08:18	そのあるカテゴリーの中で、おそらくSE、SG295 も、
1:08:23	十分 4 イシマルもそこに入っている、
1:08:27	ことではない。
1:08:30	はい日立造船の岡田です。はい。説明としては一応こうなっていて、このグループですよということで、実際、今回、日立造船の方でおやりになったっていうのは実際する
1:08:41	から、普通の材料試験と一緒にだから、
1:08:44	設計で使うのはこれですよっていうのは大体イシタサカウエかわかんないけど、
1:08:50	それに対して、実際、
1:08:53	ちょっと高かったり、
1:08:56	と理解したんですがそういうことでは、
1:08:59	58 っていうのはそれは、
1:09:01	ヤマジか何でしょうか。
1:09:05	ということは、結局その炭素コウとして、こういう、例えば息子資料の、これに相当する、Cvオオハシ持丸等とも同じ。
1:09:14	もう、属するものと同等の前置制度があるって、手話が
1:09:23	はい。日立造船の原です。ご説明ありがとうございます。今ご説明していただいた通りです。はい。SG部位の 80 も、今回のツジ 25 も炭素コウノカテゴリー。
1:09:34	うんという方の分類で連立工学、
1:09:38	の引用処理そしてその中で保守的な値、最低というか低いものを使っているというご理解通りになります。ありがとうございます。
1:09:48	すいません。
1:09:49	もう一つ先ほどの松江さんの方からのご質問の関連で、
1:09:55	5 ページのこの項目項目もね、右側の方、
1:09:59	左っかわの気持ちはすごいよくわかる。
1:10:05	右っかわでね、例えばステップのわかる。
1:10:08	計上。
1:10:10	要は、
1:10:13	なんかねちょっと、
1:10:16	設計者としてな。何となく。
1:10:18	3 日のことを書きたいなんてのはわかるんだけど、ちょっと右、左側とね、左側の要求というのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:25	顧客要求みたいところで、
1:10:29	こっちが設計要求、設計要求でいろいろあったらこういうことをやんなきゃいけないなんていうことなんだよね。
1:10:36	ちょっと。
1:10:37	どうなんかなと。
1:10:39	何か、要は、
1:10:41	実際そうなのかもしれないですけども、例えばバスケットそのものについてもある。ある一定以上の、例えば未臨界機能
1:10:49	強度はある程度一定以上なきゃいけないよという
1:10:52	かつ、こういうことを、要は、要はすべてを同時達成するためにはこの材料しかないんですよ、なかったんですよっていうふうなね、ことが理解できるような、
1:11:02	もし、
1:11:04	その言葉の選び方
1:11:07	をやると、例えば、解決方法っていうことは達成すべき、その製品としての使用コウなんです。
1:11:14	軽くて、軽くてある程度強度が強くて、強度があってっていう、
1:11:19	その判決は何ですかっつたら、
1:11:23	重量がふやせないよとか、
1:11:26	お客さんがたくさん入ると言ってますよとか、そういうことになると思う。
1:11:31	設計要求というよりもむしろ製品要求と製品要求を満たすための、ある条件があって、それをやるためにこういうことで、これに合致するのが、SD。
1:11:44	っていうふうな説明をされた方が、もう皆さん理解に繋がるんじゃないかなと思うんですけども。
1:11:52	そうそう、そういうふうに移ってみるんじゃないかなと思うんですけど。
1:11:56	ちょっと一つの参考意見として、
1:12:01	クドウ線のヒグチでございますコメントありがとうございました。
1:12:04	4ページのそうですね、おっしゃられる通り、5ページですね、5ページ目の右側のピンク養型強靱な構造強度が必要とかですね。
1:12:13	高い遮へい機能が必要っていうのは、確かに誤解されるかもしれないので、
1:12:18	それをちょっと割愛させていただこうと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:25	パラドックスしかるが、要求を満足するために、この材料を、先生に至ったってということがね、わかるような、
1:12:36	例えばたくさんふやしたいとは重たくなるとわかるけども、これ完全パラドックスや
1:12:42	タマウチされてるという、
1:12:44	CHASTEのその重要なり、要は大きさ、規模を頭打ちされてるんであれば、どうするのかつつたら、
1:12:50	極力、要はでなおかつたくさん入ってるし、ある程度燃料勉強使用の要求があれば、当然、正しくなるだろうから、バスケットに重量かけられないねと。
1:13:02	こういうことになるよってというような形で理解
1:13:07	してこの材料を選びましたっていうのが御説明の方がわかりやすいんじゃないかな。
1:13:13	勝オクノヒグチでございます。ありがとうございます。
1:13:16	最初はですね遮へい機能を維持したいとかっていうふうに書いてた。
1:13:23	やっぱり誤解を受けますでしょうか。
1:13:27	それは技術上の基準を満足するっていうのは一つのね、また、
1:13:31	要は技術の基準をまずしようと思うと、大きくすれば安くすればいいな。
1:13:36	それとはまた別にこういう条件あるから、その間ねらいついていうか最適化を図るためにこの材料を使いました。
1:13:52	規制庁マツノ
1:13:55	最後に、
1:13:56	今回いろいろこう資料を見直し、見直していく中で、
1:14:01	型式指定での約束事項なんですけども、
1:14:06	ここで言うと、39 ページ目の丸 2 で書かれてあって、
1:14:13	パワポ資料のこの 39 ページ②は結構明確に書いてあるのかなと思うんですけど。
1:14:20	これ一方で補足のほうを見ると、
1:14:23	技術が、
1:14:27	見当たらずなくて、ここかなと思うのが多分、資料の 1-3 号、4 ページ目。
1:14:36	なお書きで書かれてあるんですけど、
1:14:41	あまりこの長きの文章を見ても、先ほどのパワポの文書と比べると、
1:14:46	非常に抽象的な、
1:14:48	文言で書かれてるのかなと思うんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:51	具体的にここはもう、なお書き、
1:14:54	ではなくて、
1:14:56	規定では何を、
1:14:58	知見するのかっていうところはちょっと明確にして欲しいんですけどもいかがでしょう。
1:15:04	映像センター町長。
1:15:28	すいません日立造船の樋口でございます。ちょっとその前にちょっと1度、一つだけ確認させていただきたいんですけども、
1:15:36	資料1-2で書かせていただいています今後の方針の中です、この中では、後段審査という言葉を使わせていただいているんですけども、
1:15:50	6五名俗に言うと型式申請。
1:15:53	の前指定の申請の前までについていうことで、
1:15:57	理解して、
1:15:58	はい。
1:16:00	後段審査の前までに、
1:16:03	後段審査のまま型式新設新指定の申請の前までについていうところで、
1:16:09	メールに書いた方がいいと思うんですけどいかがでしょう。
1:16:16	ちょっと面白い。
1:16:36	こういうところに型式指定だとかそういう、
1:16:39	文言を使っても、
1:16:41	よろしいのかどうかっていうところがちょっと入っちゃってる。
1:16:48	ここは、
1:16:50	当然家庭的認証成分制度設計上、証明があればそのあとの詳細設計の審査が増してになりますので、
1:17:01	今回その証明でどこまで見て指定でどこからコウ、
1:17:06	見るのかっていうところは前回のヒアリングでもコメントしましたので、それを踏まえて、その証明で見るべき範囲としてで見るべき範囲っていうところは、
1:17:18	この補足説明資料で、
1:17:20	明確にすべきと。
1:17:23	これ、
1:17:29	文言。
1:17:31	へえ。当然申請するときまでには、
1:17:35	試験終わって評価まとまった段階で、申請
1:17:47	何月なおかつ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:50	いたしますけど
1:17:55	イトウ規制庁。
1:18:01	お考えです。
1:18:04	申請書にも、申請書の別紙の 1 に、
1:18:07	ポスト用材料の炭素コウに
1:18:12	コウダテ今後結構やられる試験、
1:18:15	試験で確認しなきゃいけない事項。
1:18:17	てるっていうことかなという。
1:18:19	そのの、
1:18:26	変わってる。
1:18:29	この、
1:18:30	与えていきますっていう数字。
1:18:32	内容だったものが、ちょっと今の時点では、個人プラスアルファの実験が必要ですねっていうことが、99 に変わってて、今松野が言ったような記載がこの別紙の 1-1 に必要ないかなっていう。
1:18:43	衛藤。
1:18:45	懸念というか、疑問がある。
1:18:58	規制庁のテラノについて別紙の 1 の申請書の別紙の 1-1 にバスケット用材料絆創膏に関する説明書っていうのがあって、
1:19:06	これについて結果書いていけば、ここについて今、
1:19:11	補足説明資料についていただきたい。
1:19:13	というような内容のことがここに必要ないかどうかというのについて、
1:19:25	イチノセヒグチ岩瀬ございましょう。
1:20:00	土地造成の樋口でございます。大変お待たせいたしました。コメントありがとうございます。ご指摘の通りだと思いますので、今度、補正を出すときに普段、
1:20:13	対しましては、別紙 1-1 の方に、ひずみ事故に対する対する暴力除去仕事の条件については、型式指定の申請前までに確認するという文言をですね、
1:20:27	記載するようにしたい。
1:20:33	はい。規制庁岩佐です。今、流れの中で皆さん、各審査官が言われた通り、
1:20:41	パワーポイントに載ってるのは、前回もちょっとお話ししましたがけれども、あくまでもわかりやすい資料として抜粋したものを、申請書や、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:51	その補足説明資料から抜き出したものを書いてくださいっていうことになっていて、
1:20:56	あくまでこのパワーポイントは参考資料なんですよ。
1:21:00	で、そのパワーポイントを見ると、試験がまだ終わってないんで、それは後段審査の中で見ますってところを、私も探していて、
1:21:10	補足資料にはそれらしいものはなく、今ちょっとパソコンを見さしてもらって申請書に書いてあんのかなと思ったら書いてないと、ということなんで、審査官はダイレクトに言わなかったですけど、型式通さないですよって言ってんですよ今。
1:21:25	それ書かないんだったら、
1:21:27	ていうことなんです。
1:21:28	パワーポイントに書いたからいいでしょっていうことではなくて、これタダノ参考資料なんでこれは何の効力もない。
1:21:37	我々と事業者との間でのお約束事として型式通して欲しいんだったら、それはちゃんと後段規制の前までにちゃんとデータをしっかりそろえて、我々、設計方針まではしっかり見ますけれども、
1:21:52	詳細なところについては、そのあとの、その指定の方でしっかり見さしてくださいっていうことを条件として、どうするかっていう判断を、上に上げていくってことを考えてますんでそこはちゃんと、
1:22:04	記載するかどうか、また、
1:22:07	なおっていうのを、
1:22:08	どうするかっていうよりも、なおではなくてまたなんですよそこがね。
1:22:13	書きぶりんところも含めてちゃんとそこはやってください。
1:22:20	ちょっと細かい話ですけども、パワーポイントのところもちょっと、
1:22:24	気のついて1-2ですねパワーポイントの4ページ目。
1:22:29	我々、その型式のところの設計方針のところ表があってそれぞれ四つの項目。
1:22:36	臨界とか除熱とか、閉じ込めとかありますけど、特に閉じ込めとか遮へいのところで、その及ぼすことはないとか、
1:22:44	いう、
1:22:46	話書いてあるんですけど、申請症状とか、羽鳥上野臨海除熱とかの書きぶりを見るとですね。
1:22:54	そういうふうにならないように設計する設計方針とするっていうふうに書いてあるんですけど。
1:23:00	閉じ込め機能とか遮へいんところでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:03	及ぼすことはない。
1:23:05	ていう、これ方針ですかっていうと方針じゃなくて、断定してるんですよ。だから、及ぼさないような設計とする、要は申請書もそういうふうに書いてある。
1:23:15	だからそういうふうに書いてくださいと。
1:23:18	ということで、
1:23:19	それから5ページ目んところは、ほら売り込みをする電力会社へのパワーポイントのように見えて、私もしょうがなかったんですけど、別に52体が69体にふやしたいとか思もてできないとかっていうのは、
1:23:34	別にそれは我々との関係じゃないですよっていう。
1:23:38	ところしっかりとした、その安全基準、規定基準ですね、を満足するためにはこのSGに糾合材料が必要なんですっていう。
1:23:50	パワーポイントがついているんだったら、わかるんですけど、何かちょっと見え隠れするものが違う人が見えるんですね。
1:23:58	これを上に上げると、なんだな、何のための資料なんだってなるので、ちょっと誤解がないような形に直してもらいたい。審査会合のときに、
1:24:07	ということをお願いして、
1:24:09	SG2 救護の部分は私からコメントが言いたいと思いますけど、皆さん何かありますか。
1:24:21	なければ、じゃ次。
1:24:25	30分切ってしまう
1:24:27	説明はシミズお願いでございますはい。コメントありがとうございました。見直させていただきます。では引き続きまして、※資料1-1の方に戻りまして、
1:24:42	ラブコールについてなんですけれども、前回のヒアリングでですね、設計上の隙間が1.5ミリあるということで、相対変位が一旦、
1:24:54	計算ミリだから問題ないっていうような、
1:24:56	そこに応力腔が生じることはないというような記載をしていたものをですね、基本的に見直しまして、
1:25:05	ご指摘いただいたコメントに沿ってですね、記載内容に直しております。まず、ページがですねニシダ13ページ、すいません失礼しました。
1:25:16	まず第1にですね輸送貯蔵時におけるバスケットの評価対象の考え方も同じということで、普段構造の設計の設計の考え方も同じであるということに記載させていただき、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:29	それからですね、容器本体に侵入したバスケットは本体胴で径方向に保持されるバスケットと本体胴の隙間小さく本体胴による径方向の保持によるより、
1:25:40	バスケットの変形挙動を抑えることに伴ってバスプラント図の相対変位が抑制されるため、スランプ構造内の隙間等を考慮すると、クラブ構造に有意な応力が生じないというふうな記載にさせていただきます。
1:25:53	バスケットの予想要件の安全解析、その辺は、前回書いていることと基本的には一緒なので、
1:26:00	ちょっと説明を割愛させていただきます。
1:26:03	大きなところでは今、述べたような
1:26:10	こちらの 14 ページ情報、15 ページの部分に関して基本的には変えておりません。
1:26:16	説明は以上。
1:26:20	はい。規制庁松野です。では質疑の方に移らせていただきます。
1:26:25	いやじゃさん。
1:26:27	戸部さん。
1:26:29	はい。
1:26:33	どうもありがとうございます。
1:26:39	結局ちょっと確認なんですけども、今一度の確認です何度もお聞きしてる内容なので、
1:26:46	あえて再
1:26:52	昨日、
1:26:54	これの、
1:26:57	機能っていうのは、結局安全会安全。
1:27:01	安全機能臨界維持。
1:27:03	そういうものの機能には特に寄与するものではない。
1:27:06	で、
1:27:09	非常にひどい言い方かもしれませんが、要は製造時に、要は
1:27:15	コンパートメントの、要は挿入空間を作るための多賀みたいな、
1:27:21	数、バスケットを、燃料、
1:27:26	普通容器の中に収納、収納、
1:27:29	製造時の、その中に、
1:27:33	の、
1:27:34	ニツタ入れるためのようなものであって、
1:27:38	技術的に安全機能を、特に何か、こいつがないと安全機能が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:44	維持できるものではないという
1:27:47	ものではないと。
1:27:49	いうふうに理解してる
1:27:53	館造船の樋口でございます。ご理解の通りでございますありました。
1:28:00	であれば、
1:28:02	例えば、そうであれば、貯蔵キャスクで、すいません、昨年郵送物として、このセキを見たときに、もう、
1:28:13	基本的にはそこはおなじですよということによろしいですか。
1:28:17	喜多クドウ線の樋口でございます。ご理解の通りです。わかりました。
1:28:21	であればですね、昨日、書かれてることっていうのは、
1:28:30	要は、
1:28:31	要はクランプの機能を、まず、
1:28:34	先ほど言ったような非常に開けアノナゴ。
1:28:37	言い方では、
1:28:39	設計で即したような
1:28:46	された
1:28:49	要はこれは各社で、
1:28:52	国、
1:28:53	要は、設計上は、
1:28:55	要はそのクランプがなくて、そのクランプで、本来、
1:29:00	繋がってるように見えてるものがバラバラに入った状態で、例えば、外部事象に対する、そのバスケットの健全性とかですね。
1:29:09	に対して、要はバスケットの安全機能が担保できますよという設計、
1:29:15	というふうに理解してるんですけど、もっと言うと、0.3メーターぐらいあったとか、
1:29:20	9、
1:29:20	これはここの審査、
1:29:26	その時においても、
1:29:27	要は、
1:29:28	極端な話、
1:29:30	幾つかの、要はパーツが、要はキャスクの中に入って、
1:29:35	それ、それが、
1:29:41	周囲のシーリングと、要は最外周引っ付けたパーツでありっていうふうな、仮にバラバラに入ったとしても、こいつは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:52	出してるんですけども、この設計は、要は、いかなる場合でも未臨界性も担保できるし、
1:29:58	除熱機能も担保するし、
1:30:01	という設計だっていうことですよ。
1:30:04	それで間違いないですよ。
1:30:06	日立造船の樋口です。ご理解の通りです。極端なことを言えば、クランプ時がない状態でも、製造上問題なければですね、
1:30:17	安全機能は満足できるというふうを考えて、
1:30:21	はい、というふうに、これまでのね、いろいろな御説明とか、
1:30:26	いう話であれば、逆にこれはこうなんだけども実際に、
1:30:32	どういう説明がいいかっていうことでここで、
1:30:36	1.3mmという具体的に定量的な数字まで出していただいているんですけども、
1:30:40	要は安全解析をやる上ではですねむしろ、要はこういうものでは、要はフランクにはこの設計は、要はクランプはそういう位置付けで
1:30:49	安全機能に維持せず、するものではなくって、何だから、バラバラで入ったとしても、要は全体のそのバスケット、
1:31:00	VIP容器等の内面の拘束によって、要は、所定の位置にバスケット、いわゆる、
1:31:08	バブル。
1:31:10	コンパートメントが所定の位置と設計で想定する範囲の
1:31:14	ちゃんと収まる設計ですよとか、
1:31:17	設計とするとかですね、そういうこと、そういうことを、もう明確に言われた方がね。
1:31:22	いろいろ今までを、じゃあ力どうなってんのか、引っ付いてるからこうなってんのか、例えば、ここで、そもそもの
1:31:32	指摘事項っていうのは、このひっついてんだから、ここで何か荷重がかからないことを説明してくださいとかっていうことになったんだけど、
1:31:41	各福祉課で、次回、
1:31:44	ですよ。
1:31:45	昨日は、昨日は、実際そう、そういうふうなところで安全機能は全く期待してない。
1:31:50	要は、その点、この結果からもう、
1:31:54	なくても一緒という結果ですよこれ。結局、1.3mmっていうのは、
1:31:58	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:01	2.3mmっていうのは別に、1.3mm動くっていうだけであって、別に、前も申し上げたように、1.5っていうのがあるからまた頭がこうこんななってしまうよと。
1:32:16	結局、
1:32:18	これけっきよ
1:32:20	全機能を維持され、
1:32:27	わかりやすくなる。
1:32:29	益子。
1:32:31	ちょっと確認です。
1:32:33	設計で機。
1:32:38	日立造船の樋口でございますコメントありがとうございました。ただですね、こちらなんですけど審査会合で、ご質問を受けたんですけども、審査会合で受けたご質問の内容に沿って回答する。
1:32:51	となると、今書いてるような内容になってしまうということで、
1:32:55	心情的にはおっしゃられた通りの話で、
1:33:01	であれば、だから、例えば、
1:33:04	そういうセキに対して実際考慮して評価したら、この程度でしたっていう言い方をされ、された上で、
1:33:10	なお7日で、
1:33:12	ナゴじゃないですね、非常にクラウドの位置付けっていうの重要重要なポイントだと思うし、見れば誰でも安全、安全機能を維持するものだと思うってしまうから、何かこれはって言ったら内田ノダとか、
1:33:24	クランプについては金井押田ですけども、今お考えのことを私は、確認というふうに申し上げましたけども、お考えのことをちゃんとまとめて、だから実際は、
1:33:36	これ今後、考慮し、これ、考慮するかしないかっていうのはある。
1:33:40	考慮しない上で、じゃあなぜ機能が担保する設計とするっていう
1:33:44	されても、された方がいいのかなという気がする。
1:33:48	しています。今までのやりとりで、
1:33:51	先ほど申し上げました特に、
1:33:54	何か機能があるんやろっていうふうな、
1:33:57	質問なりその指摘になってる。
1:34:00	そこに対しては、機能を明確にされた上で、
1:34:03	例えば各部云々だから、
1:34:06	ここにはこんな構造なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:09	実際クラブに荷重がセット同じ所においてもプラント荷重発生することはありませんよと、ただしここは動くんですよ。
1:34:17	ということで、結局ランプは、グラフはいろんな外部事象とかを、外部事象ですねここだけタカダ部署、
1:34:26	要は何らその、その安全機能、
1:34:29	に対してそれを何か影響を与えるような機能を持ってませんということで、
1:34:34	いうふうな説明が明確にされて、
1:34:37	の方が、
1:34:41	路線のヒグチでございますコメントありがとうございます。では
1:34:46	本日の資料の 1-1 の 13 ページのところの、容器本体に侵入したバスケット本体胴で径方向に保持されるの後にですね、
1:34:57	今ご指摘いただきましたような内容を記載させていただく方向で検討させていただきたいと。
1:35:06	するんですけども、今の点についてちょっと私もこの 13 ページ目のこの回答も、
1:35:12	書きぶりを見て、
1:35:14	同じように思ったんですけど、
1:35:16	まず最初の一段落目で、輸送と貯蔵は、評価対象の考え方は同じ。
1:35:24	フランス工場の設定の考え方も同じであるということが書いてあって、
1:35:28	次の段落でもうすぐ評価の話に入ってしまうんですよ。
1:35:33	考え方が同じであればどう考え方が同じなのかその、
1:35:38	安全機能維持に必要な部材なのか構造強度必要な部材なのか。
1:35:43	その、
1:35:44	安全機能に対しての考え方に対して、じゃあ、評価の日付っていうのは変わってくるので、
1:35:51	この辺の説明の流れが唐突に評価の話に。
1:35:57	具体的過ぎて、そもそもこの評価の位置付けっていうのはそもそも、
1:36:02	安全機能上どうなのかっていうところでこの評価の考え方も変わってくるので、
1:36:07	そこは多分、
1:36:10	容器本体に承認したバスケットは、前の段落で、
1:36:14	少しそのあたりの安全機能の維持、構造強度との考え方というところは、
1:36:19	多分に産業、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:21	必要なのかなと思いますけども、いかがでしょうか。
1:36:25	日立造船の樋口でございます。コメントありがとうございましたコメントの通りだと思いますので、この補足説明資料の方には記載してはいるんですけども、
1:36:36	そのクランプがどういうものかと、いうことと、あと、基本的安全機能に対してどのように影響するか、全く影響ないものになるんですけども、影響ないということ、この間でご説明させていただこうと。
1:36:52	いうふうに検討させていただきたいと。
1:36:58	で当間 14 ページ目 15 ページ目で、
1:37:02	14 ページ目を見ますと、
1:37:05	FEM解析モデル事例が書かれてあって、
1:37:10	右の、
1:37:12	図を見ると、変形バイスが 20 倍で、
1:37:18	この絵で、
1:37:20	変位量が示されてるんですけども、
1:37:24	これちょっと素朴な疑問ですけども、このバスケットの、
1:37:29	ところも、
1:37:30	何かゆがんで、
1:37:33	見えるんですけど、
1:37:35	特にこれ、
1:37:36	これだけの問題で実際は、
1:37:40	変形は生じないっていうことでよろしいですか。
1:37:44	日立造船の樋口です。弾性範囲内で実際の変形があるってことなんですけど、これ、記載の変更はあるんですけども、それを変形量 20 倍にしてるので、何か、
1:37:58	重なってるような技術な形の状態になってまして、実際はこんなには変形してない、解析上はこうなってるっていう解析上、どこが変形してるかを、
1:38:11	わかりやすくするために、20 倍、変形量を 20 倍にしてみているっていうのが、このFEMのモデル図というか、解析結果の
1:38:21	あらわしてるものでして、実際ここまでは変形しなくて、ほとんど左側の最初の状態と見分けがつかなくなってしまうので、その見分けをつけるために、20 倍でやってるっていうこと、というご理解をいただければと思います。
1:38:38	あと、15 ページ目なんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:41	それで左レイズー4 でプラント断面図があって、右の図で、
1:38:48	ばね反力の発生が、グラフがあるんですけど、
1:38:52	この
1:38:53	左のこの、
1:38:55	図の4で、
1:38:57	いきなりこれクランプの断面図が、
1:39:01	示されて、
1:39:03	キャスクとの関係が、
1:39:05	ちょっとわかりづらいなと思うんですけども。
1:39:08	なんか多分これ、いろいろ参考資料の方見ると、非常にわかりやすい 絵とかもあるので、
1:39:14	ちょっとその辺見やすさわかりやすさの点で、
1:39:19	資料の修正をお願いできればと思いますけども、いかがでしょう。
1:39:30	日立造船の樋口でございます。参考資料の方で、スランプだけを引っ張 り出したような、41 ページ。そうですね 41 ページ目を少し持った方がち よっとわかりやすいかなと思うんですけども。わかりました。41
1:39:46	ページの真ん中の絵をちょっと使ってですねそこから引き出してこの図 につなげるような形にさせていただこうかと思う。
1:39:54	あとこの右のこのグラフなんんですけども、
1:39:57	ちょっとこのグラフで書かれてあるこの隙間と、
1:40:02	阿藤。
1:40:03	途中から右肩上がりでコウ。
1:40:06	アカセ。
1:40:07	金反力上がってくるんですけど、
1:40:09	これ、前のページの 14 ページ目で、
1:40:13	示されてるこの
1:40:15	相対変位の値との関係では、
1:40:19	ナカ、
1:40:21	ちょっとグラフの見方がよくわかんなかったんですけども。はい。衛藤。 この絵図を表しているのは、クランプが、
1:40:28	どういうふうには解析に影響を与えていくかということを表しております、
1:40:33	つまり、ばね反力が 1 点、相対変位が 1.5 ミリを超えないとですね、バ ネ値が出てこないんですかね違う生じない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:45	このようなモデルになっておりまして、例えば相対変位が 2mmとか 3mmとか広がっていくと、この盤面ばね反力で締め付けるような、力が加わって、
1:40:57	人材が必要な影響を与える可能性が出てくるんですけど、現状の解析では、先ほど申し上げた通りですね、キャスクの中に入れてしまうと、
1:41:08	サポートプレート、床を返してですね本体胴で拘束されてしまうんで、そのばね反力が出る場所まで相対変位が出ない。
1:41:17	ということから、効力詳細に確認したら、プラント自体には応力が生じて起業しませんと。
1:41:26	ということを行っています。それを示すグラフということですか。わかりました。
1:41:33	ハラは、クラス構造については以上になりますけども、
1:41:38	その他何かコメントだけでお願いします。
1:41:46	特にないようですね。最後上部格子枠の車検について説明をお願いします。
1:41:52	はい。日立造船吉尾です。では衛藤資料 1-1 の 16 ページ 17 ページに記載しております東條クボ資格の衛藤事項コウノについての均質化の影響というところのコメントの回答。
1:42:08	前回のヒアリングで説明させていただいたところから、17 ページの方、見直しております。こちらは前回のコメント等で衛藤。
1:42:20	補足説明資料等概要パフォーの方の説明の整合がとれてないんじゃないかというところから、江藤、御説明の方針自体を
1:42:29	トップによる解析との比較ではなく、衛藤、
1:42:34	品質カトウ久野、そちらの両者の比較というところに基づく説明に見直したということでございます。ちょっと前回から
1:42:44	まず統計誤差のお話がございます衛藤。
1:42:48	説明もともと書いていた説明内容に対しまして表面における
1:42:54	課題というのはですね統計誤差も改めて確認してみました
1:42:58	ちょっと前かEの状態だと統計誤差がちょっと説明上、
1:43:03	十分低いと言えないかなというようなところがございまして、追加で衛藤へ解析延長しまして、統計誤差を、下の説明に、江藤。
1:43:14	セキするような、と考えられる程度に、衛藤。
1:43:17	亡くなるまでちょっと解析延長した結果に修正しております。
1:43:22	衛藤。
1:43:24	結論としましては当間。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:26	17 ページの、もともと上に書いてあった説明、
1:43:31	によってですね、従って、修正Cは非保守側の営業が均質カトウ平塚のの違いによって均質化することによる非保守側に確認できなかったと。
1:43:43	いうところと構造材孔食がませんは、衛藤、均質化をすることで約 20% 程度過小評価する可能性が示された。
1:43:51	いうところですが、
1:43:56	ただ江藤二川の方に関しましては
1:43:59	中性子が支配的だということから、江藤評価機関に対しては、影響しないと。
1:44:04	いうところで結論させて、ご説明とさせていただきます。
1:44:09	ハヤシですが以上です。
1:44:14	ありがとうございましたでは規制庁か規制庁側から確認。
1:44:18	等ございましたらお願いいたします。
1:44:26	すいません規制庁のテラノです。すみません私から、細かい点で恐縮なんですけど 17 ページ目修正いただいたところですけども、
1:44:33	先ほどご説明の中にもあった通り、飛散の影響として中性子については、特段影響は大きな影響になって、ただそうは言ってもかませず、
1:44:45	ちょっと過小評価する傾向。
1:44:47	ただ、そのババ線については、特に、
1:44:52	全体の
1:44:53	診療評価からすると、抽出の方から、支配的なので、全体の結果については特に大きな
1:45:02	値でところの、
1:45:05	中性子が支配的であるため合計の線量当量率に大きな影響を及ぼさないよう、箱書きにするとか何か、
1:45:10	すみません、具体的にあるのかなと思ひまして、ちょっと細かくて恐縮
1:45:16	先生そうです。衛藤。
1:45:19	加古議員してる理由は、特にはないですね。
1:45:24	規制庁の瀬野です。
1:45:25	ストーリーとしては、ここが一つの大きなポイントかなと。
1:45:29	御説明のストーリーの一つのポイントかなと思いますので、ちょっと聞いて。
1:45:34	はい。
1:45:44	規制庁のテラノです。
1:45:45	はい。崎山さん、すいません一つ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:48	この指摘と少し離れてしまうんですけども、1号の1の1-5。
1:45:56	別紙の、
1:45:58	6、6のところの面積のライブラリの時点で、
1:46:04	表に補足説明資料にし、
1:46:07	いただいたんですけども、
1:46:10	ここのものとしては、PLC、
1:46:13	23脚ライブラリーでは一部過小評価する点がありますといったところでこの別紙6にあるのとある通り、そこを補うべく、個別のライブ、適切なライブラリー、
1:46:24	個別のライブラリーを用いて評価している点については、
1:46:28	評価していただき評価して、
1:46:30	そこでニイツイシイケダクドウツカベクマクラシンボイトカワを問題ないと。
1:46:34	スタッフ。
1:46:37	木曾。ここの中でこういった
1:46:39	遮へい計算についてはこういった考え方でやってますというのをちょっと説明するだけじゃなくてその申請書の方にも、
1:46:46	書いた方がもうちょっと評価値との、
1:46:48	規格だったりとか、評価の
1:46:53	利用者、事業者がやってるけども、そうですし僕らが確認するポイントも明確になって良いんじゃないかなというふうに
1:47:02	はい。廣瀬イシタです。衛藤。
1:47:05	ですね申請書本文側というかそちらの方で衛藤、
1:47:09	この
1:47:11	書類一位ですかねそちらの方で性の評価をしについて述べているところでライブラリーに提供するところもございますのでそちらの方でちょっと取補正させていただければなど。
1:47:30	すいません、お願いいたします。
1:47:32	私からは以上です。
1:47:36	その他、ゴコウさんとか何か。
1:47:40	規制庁のゴコウですと、ちょっと簡単な確認なんですけども、
1:47:44	パート資料の17ページのところに先ほど説明があった通り、統計誤差を付け加えてもらって、
1:47:54	表面の中性子だと大体、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:57	ほとんどが誤差の範囲内で一致してますという説明ができると思うんですけども、評価点1だけちょっと差が大きいっていうのはこれは何か説明できる理由はありますか。
1:48:08	衛藤瀬下です。衛藤。
1:48:11	江藤、明確に確認とれるような検証はしてないところがございますが、衛藤蓋部の中性子遮へい材、
1:48:19	のところモデルズー評価点の位置というものを書いてると江藤知事部隊に想像するところに、コストとか、
1:48:27	がですね、江藤存在してその辺の材質Ⅱがえ等、
1:48:33	曲的に違うみたいなどころとかも影響するのかなというふうには、考えてはおります。
1:48:42	規制庁の方向です。評価点1っていうのがキャスクの中心軸上で、
1:48:47	一次蓋の構造がちょっとそこだけ特殊な、
1:48:51	構造が含まれているから、他の結果と多少違うところが出ている。
1:48:58	いるというところで、スタートしてもそんなに大きいとは思いませんので、
1:49:03	他とちょっと傾向が違って、おかしくはないという評価をされているということでもいいですか。説明します。
1:49:11	実際そこがそこだけそこまで影響するっていうそういう影響するかというところが、定性的に、定量的に確からしいかっていうと、ちょっと自信がないところが、
1:49:22	ありますので今やっている、モンテカルロで統計的に出た結果が、当間コウ0 こういう結果を示しているという以上のことはここではちょっと言いにくいかなとは思っており、
1:49:34	はい規制庁のゴコウです。
1:49:38	解析やり直してくださいという話ではないので、例えば転記ミスがないとか、その程度の確認は少しされている。
1:49:44	自信を持ってこの値ですっていえるように、お願いします。
1:49:49	はい、北崎瀬下です。承知いたしました。
1:49:55	あ、規制庁マツノ。
1:49:57	他ありますか。
1:50:03	ちょっと私の方から細かい点で、
1:50:06	つかあるんですけどまずパワポ資料の、
1:50:11	シーン。
1:50:16	17 ページ目に、
1:50:20	解析結果の比較が上にあって、参考で線量当量率の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:26	結果が示されてるんですけど、
1:50:28	上はしっかりそれぞれ単位が書かれてあるんですけど、下は大変書かれてないので、
1:50:33	単位を入れてください。
1:50:37	承知いたしました。
1:50:40	資料の 1-5 なんですけども、
1:50:45	別紙 9 の、
1:50:47	2、
1:50:48	D。
1:50:50	別紙 9-1 の表があって、
1:50:56	ピース化と均一化の
1:50:58	部材の質量の比較で、
1:51:01	この 1 の、この※3 のところで、
1:51:08	金鹿野モデルの方が、
1:51:11	質量が大きい。
1:51:13	理由が書かれてあるんですけど、
1:51:16	これ、具体的に、
1:51:19	どの部分が、
1:51:21	どう、
1:51:23	含むのかっていうところが、ちょっと文章だけだとちょっとイメージがつかないんですけど、何かこれ、
1:51:29	絵で明確に、
1:51:31	違いを示すことは可能でしょうか。
1:51:33	早瀬です。衛藤。
1:51:35	参考になる。
1:51:37	心といいますと別紙 8-5 ページ。
1:51:42	を見ていただきたいんです。
1:51:46	しました申し上げます。
1:51:53	社長の方は江藤常務講釈の岸さんについての
1:51:59	技術というところでそちらが
1:52:04	更新をモデル化し、品質Ⅱのモデル、
1:52:08	それにそもそも考え方をしているというところです。
1:52:12	別紙 2 の 9 ページ。
1:52:17	ですね、江藤日野 9 ページに、燃料有効部のコンパートメントを含む断面で衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:24	燃料領域というものを定義しますという像、衛藤。
1:52:28	付けておりました江藤、
1:52:31	赤線が重なってるところですねその線上も、コンパートメントの部材、
1:52:37	実形状の方で一緒にしている、赤線上のコンパートメントの不在のことであると認識していただければと思います。
1:52:53	あと何か新城のところの部分で、
1:52:57	その差であるっていう。
1:52:59	そうですねそれが必要の、
1:53:02	サトウ実際入ってくる、モデル上入ってくる、資料の3に効いてきていると。
1:53:13	私からは以上です。
1:53:18	の郡今日の説明はこれで以上。
1:53:26	終わりです。
1:53:30	はい。規制庁岩沢です。ちょっと私、抜けてっている時間ありましたけど、クランプのところはよかった。
1:53:38	はい。
1:53:39	わかりました。
1:53:40	ちょっと時間も押してるとこありますけど、説明はコンパクトに、
1:53:44	40分以上説明されると、質疑応答数字がなくなっちゃうね。
1:53:49	コンパクトに、もう全開したところは省略していただいて結構ですので、読み上げて欲しい。
1:53:55	我々も見てます。
1:53:57	復旧工事。
1:53:59	に使っていただければと思います。
1:54:01	審査会合に我々かけようと思いましたので、今日、指摘事項、確認事項、審査会合で問われた内容については審査会合のもとで、
1:54:14	回答いただくということですけども、
1:54:17	今回申請書とそごがあるところは補正していただけるということで、SG2級オオノ話とか、阿藤、これはライブラリーの話ですね、のところについては、適正な形での申請書の補正と、
1:54:30	あと補足資料にも適切に反映と。
1:54:33	ハタ。
1:54:34	それから、パワーポイントについてもちょっと指摘審査官からありました通り、そこについても直していただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:41	それが間に合うようであれば 12 月 14 日、我々委員幹部にも上げないといけないところもありますんで、
1:54:48	いつまでに、
1:54:53	29 までに間に合えば、
1:54:55	12 月 14 日でした。14 日には乗りますと、ちょっとうちの、
1:55:01	中でも他の案件とか出張とか、上げるタイミングがなかったり、上がっても質問対応して、うまくはまらないといけないという状況もあります。
1:55:11	ご協力いただければ何とか、
1:55:13	29 日までもらえれば何とかかなりそうかなっていうふうに思いますんで、よろしくお願ひしたいと思います。
1:55:21	それから、補正申請書は、ちょっとどうしてるのか知らないですけど、ちょっと方針については少し、出す前に見さしていただいた方が、両者にとっていいのかなと思いますんで、
1:55:34	審査会合を仮にそこでうまくいった場合には補正申請の手筈になると、我々審査書っていう作成になると思うんですけども、
1:55:43	それ円滑にするっていうことを考えれば、ちょっとどういう方針なのかっていうのを文字起こしてもらわないと、我々もその申請を見ながら庇を作りますんで、
1:55:53	早目な対応していただければ、うまく、
1:55:55	困るんだなと思い、
1:55:57	18 日の審査会合については、
1:56:00	日立造船を一発で第 1 議題にして第 2 議題がトランスニュークリアそれから JNES 手続きも進んで、コンパクトでやらないと審査会合自体はなくなりますんで、よろしくお願ひしたいと思い
1:56:13	事業者がない感じです。
1:56:23	はい。日立造船の方ですはい。特にはございません。詳細審査会合の詳細は多分人数制限とかございません。別途メール等でご相談させていただきます。以上です。はい。
1:56:37	では本日のヒアリングはこれで終了いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。